

# 小中高を一貫する主権者教育の学習プログラム

【主権者教育で目指す児童・生徒像】・国や地域社会が抱える問題と向き合い、法やきまりをもとに考察し、政治、経済に関する知識を理解し、他者と連携・協働しながら、より良い社会を実現するための方策を主体的に考え、その考えを伝え合う中で相違点を見出し、更なる改善策を追究することができる児童・生徒。				単元レベルでの活動の手立て					
校種	【小学校】	【中学校】	【高等学校】	小6 「共に生きる社会」	中3 「選挙に行こう！」	高2 「インクルーシブな選挙」	中3 「誰もが楽しめるサッカーを考える」	小5 「出生率を計算して少子化を考える」	小3 自己実現活動(体育的活動)「ぼくらのオリンピック」
目標	・自分たちの身の周りで起きている地域の課題に興味をもち、実際に当事者へインタビューをしたり、諸資料を集めたりすることを通じて問題を自分事化し、より良い地域や社会を実現するための考えを伝え合う中で違う立場や考え方があはることに気づき、更なる改善策を検討する子ども。	・身の周りの社会や国家の法やきまりについて事実を基に多面的・多角的に考察し、当事者や専門家へのインタビュー、アンケート調査など適切な資料を活用しながら政治、経済等に関する知識を習得し、課題の解決に向けて、他者の考えを受けとめ、自らの考えを深めるなどして、よりよい国家・社会のあり方、自分の生き方をじっくり考えて行動しようとする生徒。	・社会で起きている課題に対して法やきまりに関する事実を基に、当事者としての関わりを見出し、実際に当事者や専門家へのインタビューや適切なアンケート調査、諸資料の収集などの探究的学びから、国際的な視野を持ってより良い社会を実現するための具体的方策を議論する。更に、違う立場や考え方があはることを理解をよりいっそう深く、自分が社会においてどのような立場かに関わるかを想定して改善策を検討できる生徒。	・視聴覚資料やインタビュー活動を通して視覚障害をもつ人々の生活の工夫や苦労を理解し、誰もが安心して生活することができる共生社会の実現に向けて自分や社会が取り組まなければならないことについて障害を持つ人々の立場に立って考え、提案することが出来るようになる。	・現代の選挙制度について障害をもつ人々の立場から課題を見だし、公平・公正の視点から考察し、背景となる課題について理解する。 ・多様性を認め合う社会を目指して、どのような課題があるのか見つけ出し、その解決に向けて取り組む人々の姿を学ぶことを通じて、解決への糸口を探ったり、新たな課題を見つけたりしながら、よりよい社会の実現にむけて自らの生き方・あり方を問い直す。	・知的、発達の両方の障害をもつゲストティーチャーとして招き、選挙という主権者としての権利行使の場における困難さを当事者から聞き、それをいかにして解決もしくは緩和できるかを、本人を交えて議論していく。主権者としての意思を示す限られた貴重な機会である選挙における権利行使の意味【(2)イ】を理解した上で、障害の有無に関わらず一人ひとりの人間が尊重される社会の実現【(2)ウ】及び、現代に共に生きる人間として求められる望ましい生き方の考察【(3)】を仲間とともに深めていくこと	・サッカーという遊びを構成するルール(仕組み)を軸に自らがその空間を生み出す主体となって、より面白い遊びを創りだす。 ・起きていた事象を振り返り(感想の共有、意見交換、評価)、次回に向けてアクションを起こす。	・合計特殊出生率を表す数値をもとに、日本の少子化の状況を理解する。 ・少子化のもたらす影響についてこれからの日本の社会にとってどうなることが良いことなのか、自分の視点をもって評価する。	・クラスみんなが参加できるように、ルールや組織を対象とし、オリジナルオリンピック大会を創る。
知識・技能	・地域や社会の現状や抱える課題に関わる人々の取り組みを理解するとともに、新聞記事や統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につける。	・社会や国家の抱える諸課題(政治、経済、法など)に関する現状や制度及び概念について理解するとともに、調査や諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。	・国際社会や国家、地域などの現状や抱える問題に対して明確かつ的確に採られた探究課題を設定し、これまでの社会における取り組みを適切に理解する。併せて適切かつ関連性のある情報を収集し記録するための研究方法を活用する力を身につける。	・視聴覚資料やインタビュー活動等を通して、視覚障害をもつ人々の生活の仕方や工夫、苦労等について理解することができる。 ・視覚障害について自分ごとで視覚障害について理解を深めることができる。	・障害のある人にとっての選挙での困難さに理解をし、その課題について、異なる立場や対立する問題の権限を捉え、問題点を見いだすことができる。	本時においてはこの観点は評価対象としない。	・サッカーの面白さやルールを理解し、採用しているルールがゲームにどのような意味(効果、課題)を持つのかを見い出すことができる。 ・サッカーを面白くするために求められる技能を見い出すことができる。	女性一人あたりが生涯に産む子供の人数を表す「合計特殊出生率」は、男性を合わせた2が現状維持の数値であることを説明する。 女性の数と新生児の数を比例させていることを読み取る。	・スポーツの競技会には、組織する人がいることを理解し、競技会運営に参画することができる。
思考・判断・表現	・地域や社会の特色や抱える課題について、多面的・多角的に捉え、その解決に向けて自分たちは何ができるかを選択・判断し、考えたことを説明したり、それらをもとに議論をしたりする。	・社会や国家の抱える諸課題について、多面的・多角的に分析し、公正に判断することができる。 ・複数の事象の関係を構造的に捉え、わかったことを筋道立てて説明することができる。 ・諸課題の解決に向けて、他者の考えを受けとめ自分の考えをさらに深めていくことができる。	・国際社会や国家、地域の特色や抱える課題について、関連する概念やモデル、理論について詳細な議論を通じて情報を統合し、有効かつ根拠のある主張をまとめて適切な公的機関等への提案を行う。	・障害をもつ人々の立場に立って、誰もが安心して生活することができる共生社会が実現するために、何が必要なのかをインタビューや調査活動を通して考え、発表することができる。	・障害のある方が選挙で感じる問題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。	ゲストティーチャーから提案を受けた課題に対して、具体的な制度上の問題点を考察している。チームメンバーと共同して議論を深めるための発言が効果的に出来ている。	・サッカーの面白さやルールについて、多様な価値観、技能差を持つ他者とともに考察し、より多くの人が楽しめる方法を判断し実行していくことができる。	少子化は現状のままでよい、改めなくてはならないなど、少子化について自分の視点を以て評価する。 自分の視点以外の視点の意見を聞き、自分の意見をまとめる。	・オリンピック大会運営に関わって、自らの役割を理解し、よりよく運営ができるよう工夫することができる。
主体的に学ぶ態度	・地域や社会が抱える課題について、主体的に問題を解決しようとする態度や、より良い社会を考え、学習したことを活かそうとする態度を養う。	・社会や国家の抱える諸課題について、主体的に問題を解決しようとして、よりよい社会の実現を視野に国家・社会の形成に参画しようたり、自分の学びのあり方を問い直す態度を養う。	・地域や社会が抱える課題について、主体的に問題を解決し、よりよい社会の実現のために自らの学びを適切に振り返ったうえで今後の学びのあり方を自ら調整する態度を養う。	・新聞記事やニュース映像等から社会が抱える問題について見つけようとしている。 ・視覚障害をもつ人々が社会で活躍する様子や私たちが何をしていくことが誰もが活躍できる社会が実現できるかを考えようとしている。	・現代社会の特色を捉え、障害者との結びつきに対する関心を高め、主体的に追究しようとしている。	議論を通じて、何をすることが出来たかを認識している。ここで得た気づきを、これからの学びにおいて何が必要となるかの理解へ繋げられている	・サッカーが遊びの一つであるという前提から、遊びを多くの他者と共有して面白い空間を生み出そうとしている。	7年後には選挙権をもつことを自分なりに自覚し、社会の出来事を目を向けようとする。	・オリンピック大会開催に向けて進んで取り組むことができる。

# 小中高を一貫する主権者教育の学習プログラム

【開発するプログラムの概要】「意思決定」に関わる資質や能力を軸として、社会科を中心に、算数・数学、体育・保健体育の3教科で「知・情・意」を意識した連携を図り、「遊び」を活用しながら「合意形成」をテーマにカリキュラム・マネジメントを通した小中高を一貫する主権者教育の一つの学習プログラムを開発する。

		小学校	中学校	高等学校
各教科	社会科	<p>◎ 聴覚障害の方との対話</p> <p>【小6】誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて自分や社会が取り組むべき課題を話し合う。</p>	<p>◎ ALS 障害の方との対話</p> <p>【中3公民】日本の障害者支援のアンケートをふまえ、現在の選挙の課題を直接聞き、公平・公正の視点から話し合いを通して、解決への糸口を探ったり、新たな課題を見つたりしながら、多様性を認め合う社会を目指して自らの生き方・あり方を問い直す。</p>	<p>◎ 知的障害の方との対話</p> <p>【高2現社】インクルーシブな選挙制度の実現のために主権者として、諸制度を適切に理解するとともに制度の影にある諸課題を浮き彫りにし、解決策を議論する。</p>
	公民科	<p>◎ 実社会との接点・意思決定</p> <p>【小6】選挙制度を学習し、仮の選挙公報を作成して模擬投票を行い、各自で投票した理由を考察した。</p>	<p>◎ 実社会との接点・意思決定</p> <p>【中1地理】人口減少社会となった日本が直面する労働力不足への対策としての移民・外国人労働者の劣悪な労働環境について話し合う。</p>	<p>◎ 実社会との接点・意思決定</p> <p>【中3公民】国家緊急権の導入の是非をめぐる議論を通して、民主主義のあり方や主権者としての意識を高める。</p>
	<p>【遊び】◎当事者との対話や、専門家へのインタビュー、アンケート調査などの諸資料の収集など、探究的な学びの場を設定する</p>			
各教科	体育・保健体育		<p>◎ 実社会との接点・意思決定・合意形成</p> <p>【中3体育】サッカーという遊びを構成するルール（仕組み）を軸に、自らがその空間を生み出す主体となって、より面白い遊びをつくりあげるために、自分たちのグループで起きていた事象を振り返り、感想の共有、意見交換、評価をしながら改善に向けてアクションを起こす。</p>	
	<p>【遊び】◎チームスポーツを通して全ての参加者が楽しめるための戦術や公平・公正なルールのあり方について協働する場を設定する</p>			
各教科	算数・数学	<p>◎ 実社会との接点</p> <p>【小5】出生率1.3の値が小数値であることから10人を単位に日本の少子化の現状と課題について話し合う。</p>	  	
	<p>【遊び】◎身近な事象や関心事を糸口に実社会の課題と結びつけ、数学的な見方・考え方を働かせて多角的・多面的に考察する場を設定する</p>			
道徳・特別活動・総合	<p>◎ 意思決定・合意形成・自治活動</p> <p>【自己実現活動】自らやりたい事柄を紙に書き、互いに呼びかけながら自主的に参加して、互いに協力しながらやりたいことを実現していく活動。</p> <p>【小3】クラスみんなが参加できるオリピックを創る</p>	<p>◎ 意思決定・合意形成・自治活動</p> <p>【生徒会活動】生徒会役員選挙において、投票する権利の保障の観点から「期日前投票制度」の創設に向けて生徒会役員自ら率先して、全校生徒、教職員への提案、規約の改正を行い、期日前投票の制度を作り上げた。</p> <p>【生徒会役員選挙】生徒会選挙の実施要領に基づき、選挙管理委員会の発足、公示、選挙ポスター、立ち会い演説、投票に至る過程を全て公正な手続きに基づいて実施するとともに、文京区選挙管理委員会と協力して実際の選挙で使用される記帳代、投票箱を借り受けて生徒会役員選挙を実施した。</p>	<p>◎ 意思決定・合意形成・自治活動</p> <p>【学校行事の運営】</p> <p>・学校行事・修学旅行の立案・計画・運営にいたる過程を生徒の自主的な活動で実施している。</p>	
<p>【遊び】◎自分がよりよく生きる、またはよりよい社会のために、他者と協働して、自らの意思・判断で行動する場を設定する</p>				

主権者教育で目指す  
資質・能力

- 地域・社会の諸課題についての理解
- 調査や諸資料から情報を適切にまとめる力
- 公平・公正に判断する力
- 地域・社会の諸課題の解決に向けて協働して取り組み、合意を形成していく力
- 自己理解・他者理解
- よりよい社会の形成に参画しようとする力

◎ 実社会との接点 地域・社会や産業界との連携・協働

